

高知市における量の見込みの推計（案）

I. 教育・保育の量の見込みについて

【高知市における量の見込みの推計（案）】

I. 教育・保育の量の見込みについて

A 教育・保育【1号認定】

保育を必要としない3歳以上児（認定こども園及び幼稚園）

① 第4回会議（平成26年3月27日）にてお示した内容

A 教育・保育【1号認定】

市域全域 (単位:人)						考察	「②供給」について
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
①量の見込み	1,959	1,939	1,909	1,894	1,874	量の見込みには今後利用したいと考えている潜在ニーズを含んでいると考えられるが、供給が量の見込みを上回る状況である。 幼稚園の認定こども園への移行等により、1号利用定員（供給）は減少する可能性がある。	・幼稚園定員：3,850人 ・認定こども園の保育に欠けない定員：783人 ・合計：4,633人
②供給	4,633						
②-①需給状況	2,674						
I 東部区域（南街，北街，下知，江ノ口，五台山，高須，布師田，一宮，秦，大津，介良）							
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
①量の見込み	796	778	764	757	757		
②供給	1,163						
②-①需給状況	367						
II 西部区域（上街，高知街，小高坂，旭街，潮江，初月，朝倉，鴨田）							
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
①量の見込み	824	830	828	825	805		
②供給	2,808						
②-①需給状況	1,984						
III 南部区域（三里，長浜，御量瀬，浦戸，春野）							
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
①量の見込み	317	307	293	290	289		
②供給	572						
②-①需給状況	255						
IV 北部区域（鏡，土佐山）							
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
①量の見込み	15	16	15	13	15		
②供給	90						
②-①需給状況	75						

② 第4回会議（平成26年3月27日）内で出たご意見

A 教育・保育【1号認定】

・（共通の意見として）全体的に乖離した数値があるので、精査して、次回実態に近いような数値でお願いできればと思う。

推計方法(案)

3～5歳児全体の標準的な算定方法による量の見込みは7,912人であり、現在の施設利用者7,835人を77人上回り、手引きに記載する補正の要件に該当せず、妥当であると考えられる。

各区分では、1号認定【幼稚園利用者及び専業主婦(夫)等の幼稚園利用意向者】1,959人及び2号認定(幼)【就労世帯等のうち幼稚園利用者】1,065人の合計は3,024人であり、現在の幼稚園利用者2,206人を818人上回る。

一方、2号認定(保)【就労世帯で保育利用希望者(幼稚園利用者を除く)】4,888人は、現在の保育所等利用者5,629人を741人下回る。

2号認定(幼)の供給体制は認定こども園が中心となるが、認定こども園自体は1号、2号ともに定員設定ができ、3～5歳児の量の見込みが全体として妥当であることから、標準的な算定方法を採用してはどうか。

推計方法(案)により試算した場合における量の見込み

市域全域 (単位:人)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	1,959	1,939	1,909	1,894	1,874
②供給	4,633				
②-①需給状況	2,674				

I 東部区域(南街, 北街, 下知, 江ノ口, 五台山, 高須, 布師田, 一宮, 秦, 大津, 介良)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	796	778	764	757	757
②供給	1,163				
②-①需給状況	367				

II 西部区域(上街, 高知街, 小高坂, 旭街, 潮江, 初月, 朝倉, 鴨田)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	824	830	828	825	805
②供給	2,808				
②-①需給状況	1,984				

III 南部区域(三里, 長浜, 御畳瀬, 浦戸, 春野)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	317	307	293	290	289
②供給	572				
②-①需給状況	255				

IV 北部区域(鏡, 土佐山)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	15	16	15	13	15
②供給	90				
②-①需給状況	75				

【高知市における量の見込みの推計（案）】

I. 教育・保育の量の見込みについて

B 教育・保育【2号認定(幼)】

保育を必要とする3歳以上児(幼児期の学校教育の希望が強いと想定されるもの)

① 第4回会議(平成26年3月27日)にてお示した内容

B 教育・保育【2号認定(幼)】

市域全域 (単位:人)						考察	「②供給」について
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
①量の見込み	1,065	1,054	1,038	1,030	1,019	<p>量の見込みは、保育を必要とする潜在家庭類型において、現在、幼稚園(通常の就園時間の利用)を利用している者の割合から算出している。</p> <p>供給については、新制度施行に伴い認定こども園への移行が見込まれ、認定こども園の2号認定子どもの定員が増加する可能性がある。</p>	<p>現時点の認定こども園の保育を必要とする定員554人を記載。</p>
②供給	554						
②-①需給状況	▲ 511						
I 東部区域(南街, 北街, 下知, 江ノ口, 五台山, 高須, 布師田, 一宮, 秦, 大津, 介良)							
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
①量の見込み	343	336	330	326	327		
②供給	223						
②-①需給状況	▲ 120						
II 西部区域(上街, 高知街, 小高坂, 旭街, 潮江, 初月, 朝倉, 鴨田)							
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
①量の見込み	538	543	541	540	527		
②供給	139						
②-①需給状況	▲ 399						
III 南部区域(三里, 長浜, 御豊瀬, 浦戸, 春野)							
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
①量の見込み	184	178	170	168	168		
②供給	192						
②-①需給状況	8						
IV 北部区域(鏡, 土佐山)							
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
①量の見込み	5	5	5	4	5		
②供給	0						
②-①需給状況	▲ 5						

② 第4回会議(平成26年3月27日)内で出たご意見

B 教育・保育【2号認定(幼)】

・(共通の意見として)全体的に乖離した数値があるので、精査して、次回実態に近いような数値でお願いできればと思う。

推計方法(案)

標準的な算定方法では、量の見込みが現在の供給の2倍近くになっている。
この推計値について、国に問い合わせたところ、認定こども園の2号認定子どものニーズを想定しているとの事である。
本市においては、新制度施行前後に認定こども園の増加が見込まれ、また、幼稚園の施設的には現存の施設で受け入れ可能な状態であることから、量の見込みは標準的な算定方法を採用してはどうか。

推計方法(案)により試算した場合における量の見込み

市域全域

(単位:人)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	1,065	1,054	1,038	1,030	1,019
②供給	554				
②-①需給状況	▲ 511				

I 東部区域(南街, 北街, 下知, 江ノ口, 五台山, 高須, 布師田, 一宮, 秦, 大津, 介良)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	343	336	330	326	327
②供給	223				
②-①需給状況	▲ 120				

II 西部区域(上街, 高知街, 小高坂, 旭街, 潮江, 初月, 朝倉, 鴨田)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	538	543	541	540	527
②供給	139				
②-①需給状況	▲ 399				

III 南部区域(三里, 長浜, 御量瀬, 浦戸, 春野)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	184	178	170	168	168
②供給	192				
②-①需給状況	8				

IV 北部区域(鏡, 土佐山)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	5	5	5	4	5
②供給	0				
②-①需給状況	▲ 5				

【高知市における量の見込みの推計（案）】

I. 教育・保育の量の見込みについて

C 教育・保育【2号認定(保)】

保育を必要とする3歳以上児(認定こども園及び保育所)

① 第4回会議(平成26年3月27日)にてお示した内容

C 教育・保育【2号認定(保)】

市域全域 (単位:人)						考察	「②供給」について
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
①量の見込み	4,888	4,838	4,763	4,727	4,676	保育所では、低年齢児の利用率が増加しており、定員の弾力運用による入所が常態化しているため、各年齢定員の見直しを実施していない場合がある。 新制度の利用定員を定める際に、各年齢定員を実態に合わせて2号の定員が減少し、3号の定員が増加する可能性がある。	3歳以上児の定員(保育所は定員と入所児童数の多いほうを採用) ・保育所:6,086人 ・認可外保育施設運営支援事業の対象施設(認定こども園除く):22人 ・合計:6,108人
②供給	6,108						
②-①需給状況	1,220						
I 東部区域(南街, 北街, 下知, 江ノ口, 五台山, 高須, 布師田, 一宮, 秦, 大津, 介良)							
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
①量の見込み	1,984	1,940	1,905	1,886	1,887		
②供給	2,269						
②-①需給状況	285						
II 西部区域(上街, 高知街, 小高坂, 旭街, 潮江, 初月, 朝倉, 鴨田)							
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
①量の見込み	2,147	2,164	2,159	2,152	2,099		
②供給	2,731						
②-①需給状況	584						
III 南部区域(三里, 長浜, 御畳瀬, 浦戸, 春野)							
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
①量の見込み	796	770	737	728	727		
②供給	1,068						
②-①需給状況	272						
IV 北部区域(鏡, 土佐山)							
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
①量の見込み	10	11	10	9	10		
②供給	40						
②-①需給状況	30						

② 第4回会議(平成26年3月27日)内で出たご意見

C 教育・保育【2号認定(保)】

・(共通の意見として)全体的に乖離した数値があるので、精査して、次回実態に近いような数値でお願いできればと思う。

推計方法(案)

供給量については、現在の区域内利用者の分布の偏りがあり、定員に満たない施設も見受けられる。また新制度移行の際に施設の利用定員(現員数)が供給量となることを考慮すると、3歳以上児の現員数を供給として採用してはどうか。

- ・保育所:5,607人
- ・認可外保育施設運営支援事業の対象施設(認定こども園除く):22人
- ・合計:5,629人

量の見込みは、10の施設類型の利用希望から2号認定(幼)を控除して算定しているが、その結果は現員数を下回ることとなった。

量の見込みの算定方法や結果から推測すると、現在の保育所等の利用者の中に、幼児期の学校教育を希望する世帯が含まれることが推測され、新制度施行前後に認定こども園が増加した場合に、認定こども園を利用したいと考えるニーズを反映していることが予想される。

前述のとおり、新制度施行前後に供給量に変化する可能性があるため、量の見込みは標準的な算定方法を採用してはどうか。

推計方法(案)により試算した場合における量の見込み

市域全域

(単位:人)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	4,888	4,838	4,763	4,727	4,676
②供給	5,629				
②-①需給状況	741				

I 東部区域(南街,北街,下知,江ノ口,五台山,高須,布師田,一宮,秦,大津,介良)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	1,984	1,940	1,905	1,886	1,887
②供給	2,192				
②-①需給状況	208				

II 西部区域(上街,高知街,小高坂,旭街,潮江,初月,朝倉,鴨田)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	2,147	2,164	2,159	2,152	2,099
②供給	2,514				
②-①需給状況	367				

III 南部区域(三里,長浜,御量瀬,浦戸,春野)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	796	770	737	728	727
②供給	905				
②-①需給状況	109				

IV 北部区域(鏡,土佐山)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	10	11	10	9	10
②供給	18				
②-①需給状況	8				

【高知市における量の見込みの推計（案）】

I. 教育・保育の量の見込みについて

D 教育・保育【3号認定(0歳)】

保育を必要とする0歳児(認定こども園及び保育所+地域型保育)

① 第4回会議(平成26年3月27日)にてお示した内容

D 教育・保育【3号認定(0歳)】

市域全域 (単位:人)						考察	「②供給」について
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
①量の見込み	1,743	1,724	1,712	1,687	1,657	・H25.4.1付け0歳児人口:2,710人 ・H25.4.1付け0歳児入所児童数:485人(0歳児人口の17.8%) ・3号認定(0歳)の現在の利用可能数:950人(同35%) ・3号認定(0歳)の量の見込み:1,743人(同64.3%) 量の見込みは全月齢であるが、産後休暇や2か月未満児は保育所入所月齢に達していないことなどから、量の見込みの数値の適正化には月齢による控除が考えられる。 また、育休中の場合は、保育を必要とする要件に該当しないため、控除の対象することが考えられる。 なお、数値適正化の試算における月齢の控除に当たっては、月齢分布の平準化のため月齢計算の基準期間満了日の翌日(H25.4.2)から調査日(H25.11.1)までのサンプル121人分を控除し補正したデータを併記する。	・保育所:856人 ・認定こども園:75人 ・認可外保育施設運営支援事業の対象施設:19人 ・合計:950人
②供給	950						
②-①需給状況	▲ 793						
I 東部区域(南街, 北街, 下知, 江ノ口, 五台山, 高須, 布師田, 一宮, 秦, 大津, 介良)							
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
①量の見込み	727	720	717	707	696		
②供給	340						
②-①需給状況	▲ 387						
II 西部区域(上街, 高知街, 小高坂, 旭街, 潮江, 初月, 朝倉, 鴨田)							
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
①量の見込み	773	764	760	750	738		
②供給	449						
②-①需給状況	▲ 324						
III 南部区域(三里, 長浜, 御量瀬, 浦戸, 春野)							
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
①量の見込み	229	226	222	217	211		
②供給	155						
②-①需給状況	▲ 74						
IV 北部区域(鏡, 土佐山)							
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
①量の見込み	11	11	11	11	10		
②供給	6						
②-①需給状況	▲ 5						

条件	補正なし		補正後(121人除外)	
	ニーズ量	需給状況	ニーズ量	需給状況
	A	=950-A	B	=950-B
控除なし	1,743	▲ 793	1732	▲ 782
生後2か月までを控除:①, ②	935	15	1,505	▲ 555
生後3か月までを控除:③	861	89	1,387	▲ 437
生後6か月までを控除:④	581	369	943	7
育児休業中を控除:⑤	1090	▲ 140	1090	▲ 140

② 第4回会議(平成26年3月27日)内で出たご意見

D 教育・保育【3号認定(0歳)】

- ・補正なしの生後2か月まで控除の935人や、同3か月の861人が適正ではないか。
- ・生後2か月で預けることは、子どもの育ちやワークライフバランスの観点から好ましくないと考える。
- ・社会的に育休が取りづらい状況の中で足りないという数字が出ているのであれば必要なのかなと思う。
「休めない親」と「育てられない親」がいる現状を知ってほしい。
など、2ヶ月児からの受け入れに対する意見多数。
- ・(共通の意見として)全体的に乖離した数値があるので、精査して、次回実態に近いような数値でお願いできればと思う。

推計方法(案)

ご意見のとおり、子どもの育ちの観点から、また労働基準法の産後休暇からも、生後2か月までの控除が妥当と思われるが、本市の0歳児入所月齢実績の平均は10か月であり、実際の入所月齢にはバラつきがある。

育児休業については、取得しにくい状況の指摘もあるが、ニーズ調査に基づく育児休業取得の割合は、実態に即したものと考えられる。またワークライフバランスの観点から考えても、育児休業取得の割合で控除することが適正であると考えられる。

このため、量の見込みは育児休業中の数値を控除した値を採用してはどうか。

推計方法(案)により試算した場合における量の見込み

市域全域

(単位:人)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	1,090	1,079	1,072	1,056	1,037
②供給	950				
②-①需給状況	▲ 140				

I 東部区域(南街, 北街, 下知, 江ノ口, 五台山, 高須, 布師田, 一宮, 秦, 大津, 介良)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	458	454	452	446	438
②供給	340				
②-①需給状況	▲ 118				

II 西部区域(上街, 高知街, 小高坂, 旭街, 潮江, 初月, 朝倉, 鴨田)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	466	461	458	452	445
②供給	449				
②-①需給状況	▲ 17				

III 南部区域(三里, 長浜, 御量瀬, 浦戸, 春野)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	155	152	150	146	142
②供給	155				
②-①需給状況	0				

IV 北部区域(鏡, 土佐山)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	11	11	11	11	10
②供給	6				
②-①需給状況	▲ 5				

【高知市における量の見込みの推計（案）】

I. 教育・保育の量の見込みについて

E 教育・保育【3号認定(1, 2歳)】

保育を必要とする1・2歳児(認定こども園及び保育所+地域型保育)

① 第4回会議(平成26年3月27日)にてお示した内容

E 教育・保育【3号認定(1, 2歳)】

市域全域 (単位:人)						考察	「②供給」について
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
①量の見込み	3,546	3,505	3,464	3,434	3,395	3号認定(1・2歳)の供給は、幼稚園の認定こども園への移行等により、増加する可能性がある。	・保育所:3,212人 ・認定こども園:272人 ・認可外保育施設運営支援事業の対象施設:85人 ・合計:3,569人
②供給	3,569						
②-①需給状況	23						
I 東部区域(南街, 北街, 下知, 江ノ口, 五台山, 高須, 布師田, 一宮, 秦, 大津, 介良)							
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
①量の見込み	1,401	1,407	1,392	1,382	1,370		
②供給	1,275						
②-①需給状況	▲ 126						
II 西部区域(上街, 高知街, 小高坂, 旭街, 潮江, 初月, 朝倉, 鴨田)							
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
①量の見込み	1,529	1,481	1,465	1,452	1,438		
②供給	1,653						
②-①需給状況	124						
III 南部区域(三里, 長浜, 御量瀬, 浦戸, 春野)							
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
①量の見込み	598	599	589	580	568		
②供給	611						
②-①需給状況	13						
IV 北部区域(鏡, 土佐山)							
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
①量の見込み	12	13	13	13	13		
②供給	30						
②-①需給状況	18						

② 第4回会議(平成26年3月27日)内で出たご意見

E 教育・保育【3号認定(1, 2歳)】

・(共通の意見として)全体的に乖離した数値があるので、精査して、次回実態に近いような数値でお願いできればと思う。

推計方法(案)

推計による需給バランスでは、全体として充足しているが、一部区域では不足している状況であり、需要に地域的な偏りのある現状を一定反映しているとも考えられる。
このため、量の見込みは標準的な算定方法を採用してはどうか。

推計方法(案)により試算した場合における量の見込み

市域全域

(単位:人)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	3,546	3,505	3,464	3,434	3,395
②供給	3,569				
②-①需給状況	23				

I 東部区域(南街, 北街, 下知, 江ノ口, 五台山, 高須, 布師田, 一宮, 秦, 大津, 介良)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	1,401	1,407	1,392	1,382	1,370
②供給	1,275				
②-①需給状況	▲ 126				

II 西部区域(上街, 高知街, 小高坂, 旭街, 潮江, 初月, 朝倉, 鴨田)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	1,529	1,481	1,465	1,452	1,438
②供給	1,653				
②-①需給状況	124				

III 南部区域(三里, 長浜, 御量瀬, 浦戸, 春野)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	598	599	589	580	568
②供給	611				
②-①需給状況	13				

IV 北部区域(鏡, 土佐山)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	12	13	13	13	13
②供給	30				
②-①需給状況	18				